



2017年12月6日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 03-6551-2601)

### 抗インドキシル硫酸モノクローナル抗体販売開始のお知らせ

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、福岡市）は、このたび抗インドキシル硫酸モノクローナル抗体の販売を2018年1月9日（火）に開始いたしますので、お知らせいたします。

#### 【概要】

当社は、ジェノミクス事業の一環として抗体製品の導入、製品販売に積極的に取り組んでおります。このたび、製品販売を開始いたします抗インドキシル硫酸モノクローナル抗体は、[株式会社クレハ](#)（代表取締役社長：小林豊、本社：東京都中央区）により開発された抗体製品です。

インドキシル硫酸は、食事由来のアミノ酸（トリプトファン）から腸内細菌によりインドールへ代謝、腸管より吸収された後、肝臓にて硫酸抱合されることで生成されます。

このインドキシル硫酸は通常尿中に排泄されますが、腎機能の低下に伴って体内に蓄積、種々の尿毒症症状との関連が示唆されていることから、本抗体は、尿毒症毒素の研究に貢献することが期待されます。

以上

## 抗インドキシル硫酸モノクローナル抗体

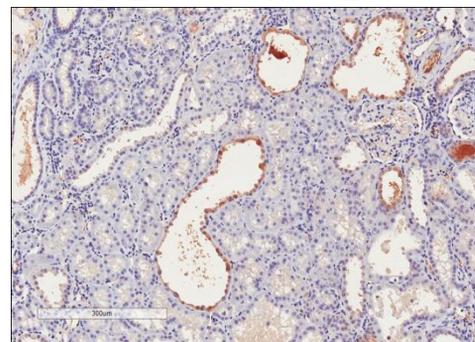
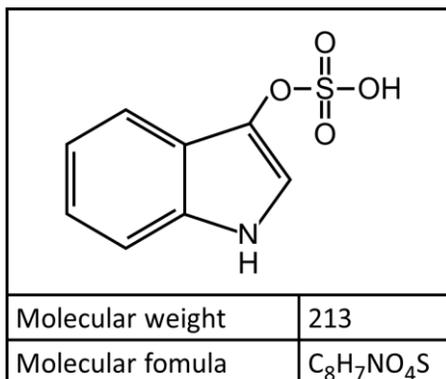
開発元 株式会社クレハ

インドキシル硫酸は、食事由来のアミノ酸（トリプトファン）が腸内細菌によりインドールへと代謝され、腸管から吸収された後に、肝臓にて、酸化・硫酸抱合を受けて生成されます。

インドキシル硫酸は、通常腎臓より尿中に排泄されますが、腎機能が低下すると体内に蓄積します。種々の尿毒症症状との関連が示唆されており、代表的な尿毒症毒素の一つとして研究されています。

### 本抗体を用いた染色例

慢性腎臓病モデル(5/6腎摘除モデル)ラット  
腎組織の免疫染色像



コード	品名	免疫動物	クローン	適応	用量	予定販売価格
KO620	抗インドキシル硫酸モノクローナル抗体	マウス	9A2F6	IHC	25 µg	¥60,000 (税別)

### 注意事項

- 希望販売価格・・・「希望販売価格」は参考価格であり、販売店からの販売価格ではございません。記載の予定販売価格は2018年1月9日時点の希望価格です。予告なしに改定される場合がありますので、ご注文の際にご確認ください。
- 使用範囲・・・本試薬は「研究用試薬」です。人や動物の医療用・臨床診断用・食品用等として使用しないようお願いいたします。

販売代理店：コスモ・バイオ(株)、セティ(株)、フナコシ(株)、和光純薬工業(株)